

発言要旨

○教育目標について ・先生と保護者で、幸せの定義・高岡で育てたい理想の人間像を共有し、PDCAをまわして知徳体のゴール、目標の見える化を行うことができればよい。 ・私たちはどのような子供を育ててほしいかという、最終的には社会に役立つ子を育ててほしい。算数や国語が出来るといよりも、相対的な力があれば社会に出て大丈夫だと思う。 ・夢を持っている子が少ない。夢を持っている子を育てる必要がある。 ・いかに目的を共有するのかというところで、家庭、小中という面では連携というのが重要だと感じた。 ・大学でいうと教育効果、教育成果の可視化があるがなかなか難しい問題である。アウトプットは時代によって揺れていると思う。たえず、我々が教育で何を目指すのか、高岡ではどういう人材像を目指すのかしっかりと共通認識をしたうえで、進めていかなければならない。
○小中一貫教育について ・教育の主体は誰なのか、そういう視点が教育には必要である。一人ひとりの発達を横軸に置き、社会性、地域性を縦軸におき、幼児期からの一貫した教育、幼小中高連携、小中一貫のような教育が必要だと思う。 ・将来のことも考え、例えば小中一貫校など、枠を広げて考えるのもいいのではないか。 ・仮に高岡に導入した場合、統合する学校を入れるかどうかで、学校の作り方がかわってくる。費用もかかる。ある程度スペースをもつ必要もある。 ・学習指導要領の改正に伴って、英語の強化などあるが、小学校の多くの教員が英語の免許を持っているわけではないので、小中一貫にして、中学校の英語の先生が乗り入れ授業を行うなど、模索していく必要がある。 ・高校時点では遅いと考えている。特に語学については小学校の低学年から進めるべきである。恥ずかしがらずに英語で会話できるようになるのではないか。幼小一貫、小中一貫という連携が出来て行けばよいと思う。教育が変わっていく事は必要な事だと思う。
○次期学習指導要領について ・学習指導要領の改正で、英語の問題について高岡においては、比較的ALTが多いので、なんとか対応できるのではないか。ただ、英語を専門とする教員の配置がもっと必要ではないか。研修等はあると思うが、数回の研修で対応できるとは思えない。多忙化解消が必要ではないかと思う。 ・元々なかった英語が教科になり、プログラミングもある。現場の率直な思いとしては、大変。
○郷土への愛着、誇りを持たせることについて ・優秀な人材の確保のため、ふるさとに愛着を持たせるのが大事だと思う。 ・高校までは地元にいるが大学で県外に出てしまい、そのままその地で就職してしまうケースが多い。せっかく育てているのに、外に送り出しているような状況である。富山県全体として考えていかなければならない。 ・生徒自身が地域の課題について考える事は大切と考える。 ・小中は地域に密着した教育が出来ており、就職時に地元に戻ってくるのはこのベースが効いていると考える。 ・他市では、授業のなかで何時間か市の特徴的なスポーツを行う時間がある。小さい頃からそういう「らしさ」があれば、大きな結果に結びつく。
○学校と地域の連携について ・富山県では校下（校区）の考え方が根強く、地域と学校コミュニティが近いのではないか。 ・ある校区では地域婦人会が自主的に子育て支援を行っている。そのようなものを活用していけば全て学校に頼るという事はなくなると思う。
○学校とPTAの連携について ・学校と連携して、入学式など保護者が集まるときに時間をいただければ、活動の幅が広がる。 ・家庭教育の中で、教えなければいけないこともある。学校の現状をPTAがよく分かっていることがある。今後ますます連携が必要となっている。お互いどう連携できるか考えることが重要である。 ・高岡らしい教育というもののために現状をわかっていなければならない。こういった場面でPTAという組織は生きると思う。
○部活動について ・スポーツの強化については、発達段階に応じたシステムを作ることが大事であるが、部活動については様々な目標の生徒がいて、それを学校で同じように、平等に扱ってやっていかなければならないものであるため、部活にスポーツの強化だけを求めることはできないと思う。 ・部活動の指導者の人材探しの際には、PTAのネットワークを活用できる。

まとめ

社会の変化を踏まえ、学校、家庭、地域が目標を共有し、連携して取り組むことが重要
教育の充実方向（案） ①幼・保・小連携、小中連携などの一貫教育の推進 ②新しい学習指導要領への迅速で効果的な対応（英語教育・ICT教育など） ③郷土への愛着や誇りを育む高岡ならではのふるさと教育の拡充 ④PTAや地域、企業などのネットワークを活用した、地域ぐるみの教育の推進
第1回 これからの高岡の教育を考える懇談会 日時：平成29年7月25日(火)15:30～ 場所：高岡市生涯学習センター特別会議室 アドバイザー：国立教育政策研究所 総括研究官 屋敷 和佳 様
第2回 これからの高岡の教育を考える懇談会 日時：平成29年8月25日(金)15:30～ 場所：高岡市生涯学習センター5階502研修室 アドバイザー：東京大学高大接続研究開発センター教授 濱中 淳子 様
第3回 これからの高岡の教育を考える懇談会 日時：平成29年10月17日(火)15:30～ 場所：高岡市生涯学習センター5階502研修室 アドバイザー：(株)ペネッセコーポレーション学校カンパニー教育イノベーション推進課長、OECD日本イノベーション教育ネットワーク 事務局長 東京大学公共政策大学院 客員研究員、岡山大学 学長特別補佐 小村 俊平 様